

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は11月10日月報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《～牛乳類の販売個数は減少～年末年始を見据えた需要喚起を～》

- ・10/24週の牛乳類の家庭内消費は、全品目通じて前週(10/17週)よりも販売個数は減少し、牛乳類トータルは再び前年を下回った。牛乳についてはコロナ前の19年度実績並みの水準となっている。
- ・ヨーグルト類について、前週と比べてドリンクタイプは販売個数が増加、3週連続で前年を上回った。個食タイプ・大容量タイプは販売個数が減少、前年を下回った。
- ・10/24週は比較的天気が良かったものの、例年よりも気温の低い地域が多かったことが少なからず消費に影響した可能性がある。
- ・11月からの牛乳を中心とした価格改定による消費への影響は現段階で不透明であるが、一方で新型コロナウイルスの感染者数は再び上昇傾向を見せており、年末年始に向けて第8波がやってくる可能性があるため、この影響による消費の動向も注視する必要がある。
- ・家庭内消費については、依然として低調な販売状況が継続しているが、生乳需給の大幅な緩和が想定される年末年始を見据えて、業界全体で需要喚起に最大限取り組む必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(10/24週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同99.8%、成分調整牛乳：同98.9%、加工乳：同99.1%、乳飲料：同99.0%。

牛乳類トータルでは同99.6%

※参考：2020年度比は、牛乳：94.4%、成分調整牛乳：91.8%、加工乳：98.3%、乳飲料：89.9%(牛乳類トータル：93.6%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は100.0%。

・販売単価は、牛乳：190.3円、成分調整牛乳：173.9円、加工乳：190.9円、乳飲料：149.9円。

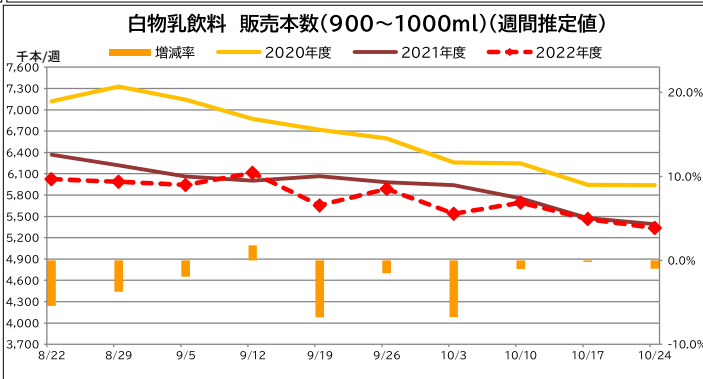
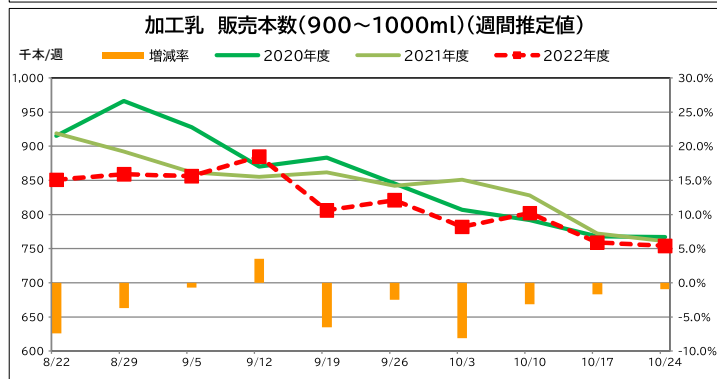
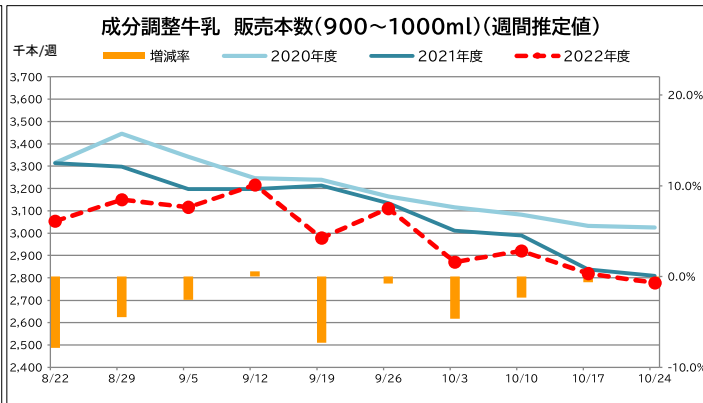
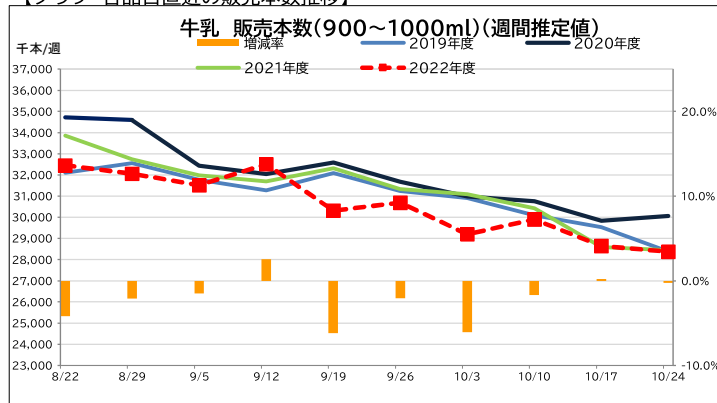
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	9.5-	9.12-	9.19-	9.26-	10.3-	10.10-	10.17-	10.24-
トータル	販売個数	41,428	42,725	39,757	40,513	38,395	39,317	37,690	37,241
	販売個数前年比	98.4	102.3	93.7	98.1	93.9	98.3	100.0	99.6
	販売単価	183.3	183.8	183.3	182.9	183.4	182.9	183.1	183.3
牛乳	販売個数	31,512	32,511	30,316	30,693	29,203	29,901	28,649	28,373
	販売個数前年比	98.5	102.5	93.8	97.9	93.9	98.3	100.2	99.8
	販売単価	190.3	190.7	190.3	190.1	190.6	190.0	190.2	190.3
成分調整牛乳	販売個数	3,116	3,216	2,979	3,111	2,871	2,921	2,820	2,778
	販売個数前年比	97.5	100.6	92.7	99.2	95.3	97.7	99.4	98.9
	販売単価	174.5	174.4	174.3	173.6	174.1	173.3	174.0	173.9
加工乳	販売個数	856	885	806	821	782	802	759	754
	販売個数前年比	99.2	103.5	93.4	97.5	91.9	96.9	98.4	99.1
	販売単価	189.6	191.4	190.4	190.1	189.5	189.8	189.8	190.9
乳飲料	販売個数	5,944	6,113	5,656	5,888	5,539	5,694	5,462	5,336
	販売個数前年比	98.0	101.8	93.2	98.5	93.2	99.0	99.8	99.0
	販売単価	150.1	150.6	150.0	149.5	149.7	149.5	149.3	149.9

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(10/24週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)ドリンクタイプは前週(10/17週)よりも販売個数は増加し、個食、大容量タイプは減少した。

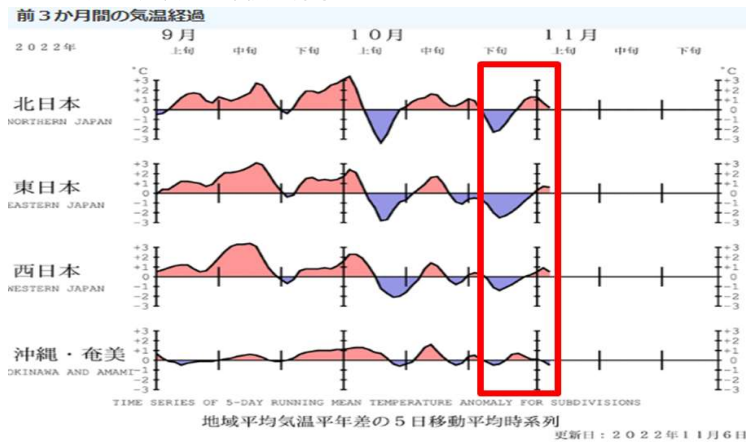
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	9.5-	9.12-	9.19-	9.26-	10.3-	10.10-	10.17-	10.24-
ドリンクタイプ	↘	→	↘	→	↘	→	→	→
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	→	↘	↘	↘	↘	→	↘

- : 前年比90%未満
 : 前年比105%以上110%未満
- : 前年比90%以上100%未満
 : 前年比110%以上120%未満
- : 前年比100%以上105%未満
 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※10/24週の気温経過 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」